

平成 28 年度中山道広重美術館事業計画

中山道広重美術館は、ことし開館 15 周年の節目を迎える。また 4 月からは、当公益財団法人が新たに 5 年間の中山道広重美術館の指定管理業務を受託することとなった。これを機に、中山道広重美術館の使命を果たし、成果を最大化するよういっそう努めなければならない。

当館は風景画の名手「広重」の名を冠する浮世絵の専門美術館である。あらためて当館構築の原点に立ち返り、歌川広重を中心とする質の高い浮世絵版画の展示を通して、来館者により大きな感動と満足感を持ち帰っていただけるよう努める。

まず、春の特別企画展として「古今東西美女 競一描かれた女」を開催する。この展覧会では、メーテレと笠間日動美術館のご協力を得て、浮世絵をはじめ、日本画や油絵でも永遠のテーマとなっている美人を描いた絵画を楽しんでいただく。

また、9 月からは開館 15 周年を記念し、浮世絵師歌川広重の画業を振り返る「絵師広重の歩み」展を開催。12 月 18 日までの 3 カ月半の期間を 3 期に分け、《木曾海道六拾九次之内》をはじめ当館所蔵の名品を中心に、叙情性あふれる広重の美の世界を繰り広げる。さらに 29 年 2 月には、新規収蔵品である隸書版東海道を披露。保存状態のよい初期の美しい摺りを楽しんでいただく。

一方、教育普及事業でも開館 15 周年を記念し、連続講座「浮世絵塾－浮世絵の歴史と鑑賞のいろは－」を開講する。国際浮世絵学会の全面的なご協力を得て、5 人の選りすぐり講師陣により、浮世絵の黎明期から終焉期・復活期までの歴史を概観する。この講座を機に、今や美術館活動に欠くことのできないボランティア活動の充実にも取り組みたい。また、13 回目を迎え作品の量・質ともに充実しつつある広重賞こども版画コンクールを開催する。

さらに、展示事業を補完する取り組みとして、浮世絵ナビルームの展示リニューアルを立案する。この展示は、人気の重ね摺り体験など、浮世絵版画を楽しく学んでいただくための常設展示として機能してきたが、15 年の時を経て劣化も目立ってきたため、基本財産の買い替え益を活用して展示の更新に取り組むものである。

以上、15 年間積み上げてきた活動の一つ一つを大切にしながら、一方で新しい試みにも挑戦しつつ、新たな歴史を築いていきたい。

1. 公益目的事業

展示

	区分	事業名	開催期間	事業概要
1	特別企画展	「古今東西美女 競一描かれた女」	4 月 7 日（木） ～6 月 12 日（日）	浮世絵、日本画、油絵一。美人は永遠のテーマ。いつの時代も、画家は“美しい女”を描いた。この春、中山道広重美術館に女性美を描いた絵画が集う。

	区分	事業名	開催期間	事業概要
2	企画展	空の貌 ^{かお}	前期 4月7日(木)～ 5月8日(日) 後期 5月12日(木) ～6月12日(日)	光の色や空模様は時と共に移ろい、風景はいつも違った表情を見せる。暁の赤い空、雲がたなびく青空、夕闇迫る日暮れの空。広重が描く自然美を紹介。
3	企画展	うきよえあそび	7月22日(金) ～8月28日(日)	浮世絵に描かれたのは美人や風景だけではない。遊びや勉強、店の広告など、浮世絵は“使う”ものでもあった。人々の暮らしの中の浮世絵の豊かな世界に遊ぶ。
4	特別企画展	絵師 広重の歩み	前期 9月1日(木)～ 10月2日(日) 中期 10月6日(木) ～11月6日(日) 後期 11月10日(木) ～12月18日(日)	開館15周年を記念し、浮世絵師・歌川広重の画業を振り返る特別展を開催する。会期を3期に分け、当館所蔵の名品を中心に、他館からの借用作品も交えて、叙情性あふれる広重の美の世界をご堪能いただく。当館自慢の「木曾海道六拾九次之内」は、中期に展示予定。
5	企画展	お江戸の春は桜色	1月2日(月・祝) ～2月12日(日)	花の王ともいわれ江戸っ子が愛した桜は、春の風物詩として浮世絵にも好んで描かれた。美術館で、ひと足早いお花見を楽しんでいただく。
6	企画展	美しき東海道―「隸書版」お披露目―	2月16日(木) ～3月26日(日)	広重は東海道をテーマにした揃物を数多く手掛けた。「保永堂版」に次いで有名な「隸書版」を27年度に新たに収蔵したので、初公開する。まるで今摺り上がったかのような艶やかな美しさを放つ初摺、全55枚をお披露目。

教育・普及・調査研究等

	区分	事業名	開催期間	事業概要
1	連続講座	浮世絵塾－浮世絵の歴史と鑑賞のいろは－	5月14日(土) 7月9日(土) 8月20日(土) 11月12日(土) 1月14日(土)	浅野秀剛氏(近世初期風俗画から紅摺絵まで。菱川師宣、奥村政信、鳥居派などを中心に)。小林忠氏(鈴木春信、鳥居清長、喜多川歌麿、東洲斎写楽などを中心に)。内藤正人氏(葛飾北斎、歌川国芳、歌川広重などを中心に)。新藤茂氏(三代広重、大蘂芳年、小林清親、豊原国周などを中心に)。岩切信一郎氏(山本鼎、橋口五葉、伊東深水、名取春仙などを中心に)。
2	なつやすみ★こどもびじゅつかん		7～8月	夏休み企画展関連イベント。作品を見る、作る楽しみを同時に体験してもらうことを狙いとして開催。
3	中央通り商店街連携事業	ゆかたで涼む美術館 夜間開館	8月	美術館で江戸の夏の風情を楽しんでいただく恒例企画。浴衣でご来館のお客さま各種サービスを実施。中央通り商店街夏祭りと同日に行い、商店街との連携を図る。
4	特別企画展関連イベント	公開講演会	秋季特別企画展会期中	展覧会に関連した内容の講演会を開催。
5	版画公募展	第13回広重賞こども版画コンクール	7月～	市内の子どもたちに、自己を表現する喜びや作品をつくり出す楽しさを体験させることを目的に開催。
6	木版画講座		秋季(10月～12月ごろ)	木版画による年賀状作りを行う。
7	浮世絵ナビルーム展示リニューアル計画立案		4月～	展示のコンセプトを再構築し、展示物更新のための計画を立案する。
8	平成29年度特別企画展開催に向けての展示作品の調査、研究、及び資料収集。			
9	平成30年度展覧会の企画構想に関する調査、研究。			
10	コレクション形成、新規購入、寄贈作品に関する調査、研究。			

2. 収益事業

- (1) ミュージアムショップの運営
 - ・美術関連商品の企画・販売
 - ・展覧会関係グッズ、図録の販売

3. 管理事業

- (1) 理事会、評議員会の運営
- (2) 美術館施設・設備及び収蔵美術品の適正な管理
- (3) 法人の運営